

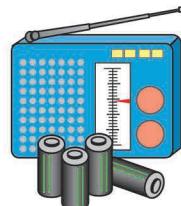
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



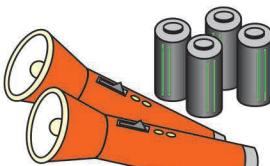
- 常備薬
- 傷薬
- 風邪薬
- 鎮痛剤
- 純創膏
- 包帯
- 胃腸薬

貴重品



- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預貯金通帳
- 免許証
- 権利証書

照明具



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)
- ヘッドライト
- ランタン

非常食品



- カンパン
- 非常用食品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- 火を通さないで食べられるもの、食器など
- 缶詰
- ミネラルウォーター
- 桜餅
- 紙コップ

その他



- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 離乳食
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- ラップフィルム
- 持ち出し袋
- 缶詰
- ミネラルウォーター
- 桜餅
- 紙コップ
- 衣類(下着・上着など)
- タオル
- 粉ミルク
- 紙おむつ
- カッパ
- ライター
- ホイッスル
- 防災マップ(本書)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェックしましょう。

飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど

非常食品



- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフルーツ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃 料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料
- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

その他の備蓄品



非常時持出品は定期的に点検を! いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なものの例

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。

大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常食などはローリングストックしましょう。

ローリングストックとは、日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に新しい非常食を備蓄することです。これは非常食を食べることにも慣れ、一度に賞味期限が切れることなく、その都度買い足して経済的な負担も少なくてすむ有効な方法です。

邑楽町

災害時住民行動マニュアル 防災マップ

保存版

安全で安心なまちづくり



町民の皆様へ

町民の皆様には、日頃より、当町の防災行政に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、近年は、大地震や集中豪雨、大雪、火山の噴火などの自然災害が全国各地で発生し、多くの尊い命や財産が失われております。これらの自然災害は、いつ、どこで発生するかわからないため、一度発生するとその被害は甚大なものとなります。特に集中豪雨等による河川の氾濫は、利根川・渡良瀬川両河川に挟まれた当町においては、非常に注意しなければならない災害の一つであります。

防災の基本は「自助・共助・公助」とされています。このうち公助(行政が行う防災対策)については、今後も継続して努力していく所存ではありますが、自助(自分の身は自分で守る)、共助(自分たちの地域は自分たちで守る)といった地域ぐるみの防災意識の向上が被害を最小限に抑えるために重要な要素となっております。

この防災マップは、その防災活動に役立つものと考えておりますので、平常時は日頃の防災対策に、いざという時には、落ち着いて行動できるよう活用していただければ幸いです。



平成30年1月
邑楽町長 金子 正一

目次

●町長挨拶・目次	表紙裏
●特別警報をご存知ですか？	1
●避難情報を正しく知って避難しましょう！	2
●風水害対策	3
●洪水災害について	4
●避難に関する情報（風水害時）	5
●地震対策 地震発生！そんなときどうする	6
●揺れやすさマップ	7
●わが家の「防災・緊急情報」メモ	8
●避難所一覧	9
●最大被害想定図	10
●邑楽町全体図	12
●詳細地図1～6	14～25
●非常時持出品の準備＆チェック	裏表紙

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基 準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基 準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける)
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける)

特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

*気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、
気象庁HPに詳細が
掲載されていますので、
ご確認ください。

気象庁 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話: 03-3212-8341 FAX: 03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)

気象庁ホームページ

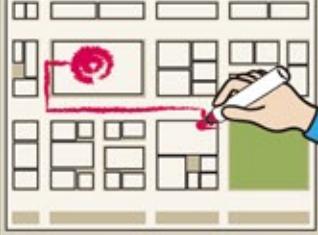
<http://www.jma.go.jp>

特別警報について

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keihou/>

避難情報を正しく知って避難しましょう!

警戒レベル

発令情報	発令状況	住民の皆さんに取るべき行動
警戒レベル 5 災害の発生	災害が発生した状況です。	命を守る最善の行動 
警戒レベル 4 避難勧告 避難指示(緊急)	土砂災害警戒情報などが発表され、被害が発生する危険度が非常に高い、あるいは被害が発生し始めた状況です。	全員速やかに避難 
警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始	警報などが発表され、被害が発生する危険度が高まった状況です。	高齢者等は避難 
警戒レベル 2 注意報 (気象庁)	注意報が発表されている状況です。	避難場所や経路を再確認 
警戒レベル 1 早期注意情報(気象庁)	5日先までに警報級の現象が予想される状況です。	最新の気象情報などに注意 

※ 必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。

※ これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



**大雨情報をキャッチ!
こんなときのわが家の安全対策。**

まずは、確実な情報が大事
その次に迅速な対応

強風注意報・暴風警報

強風注意報:
平均風速が13m/sと予想される場合
暴風警報:
平均風速が18m/sと予想される場合

大雨注意報

大雨によって被害が起こる
恐れがあると予測される場合。

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる
恐れがあると予測される場合。

記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

雨の強さと降り方

やや強い雨 10以上~20未満	強い雨 20以上~30未満	激しい雨 30以上~50未満	非常に激しい雨 50以上~80未満	猛烈な雨 80以上~
雨の音で話し声が良く聞き取れない。 ●ザーザーと降る	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。 ●どしゃ降り	山崩れ、かけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。 ●バケツをひっくり返したように降る	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 ●滝のように降る	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。 ●恐怖を感じる ●息苦しくなるような圧迫感がある

風の強さと吹き方

10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立っていられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、かけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策を取ることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに
気象情報には、注意
しておきましょう!



地下道(アンダーパス)に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。

地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。

洪水災害について

水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 水害の種類

- 雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

2 警報・注意報等の種類

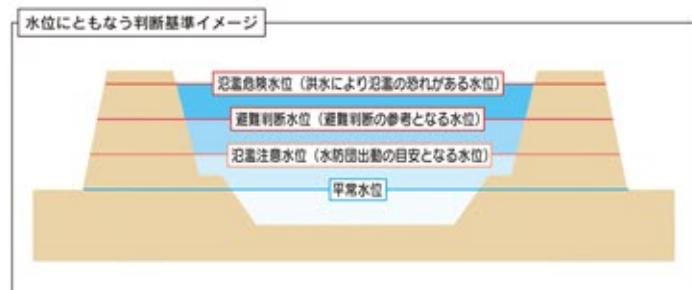
洪水や高潮の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。

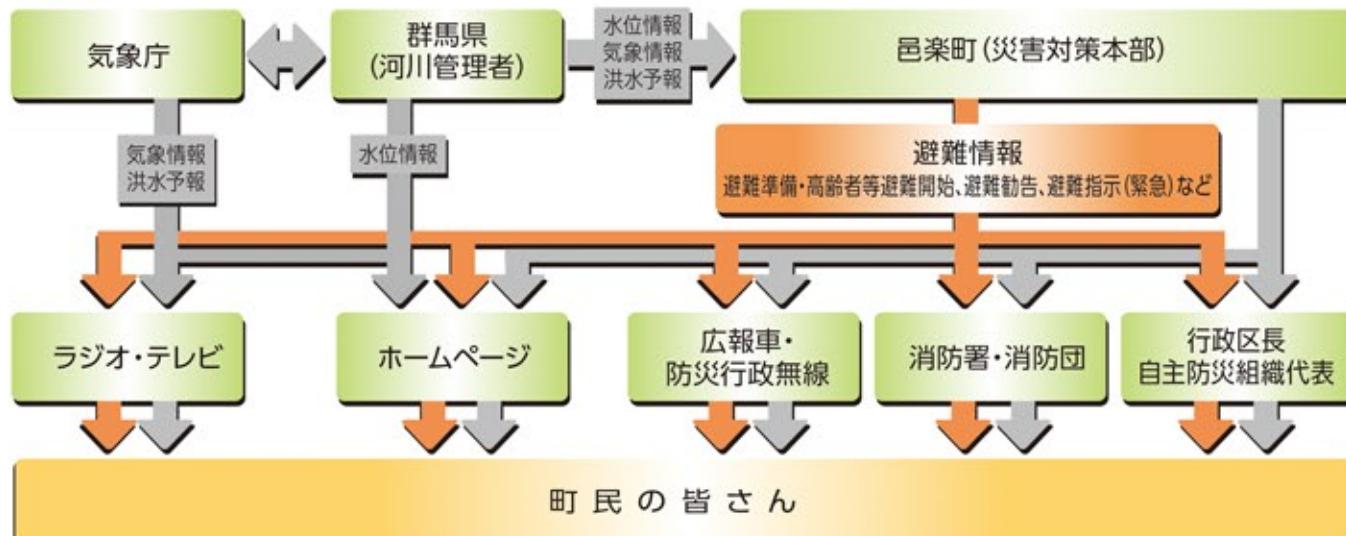
洪水警報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。



3 洪水情報の伝達ルート

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

避難に関する情報(風水害時)

「避難準備・高齢者等避難開始」情報を聞いたら高い場所へ移動する

緊急メールや防災行政無線	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
	いつでも避難できるよう準備をしましょう。お年寄りや子供は、避難を始めましょう。	お互い助け合って速やかに避難を始めましょう。なお、避難については、安全な手段と経路で行ってください。	ただちに安全な場所に避難しましょう。
例)〇〇地区のみなさんにお知らせします。大雨の影響により〇〇川が増水しています。氾濫の恐れがありますので、避難の準備をしてください。	例)〇〇地区のみなさんに勧告します。〇〇川の水位が上昇し、氾濫の恐れがあります。避難準備を整え、速やかに避難してください。	例)〇〇地区のみなさんに速やかな避難を指示します。〇〇川が氾濫する恐れがありますので、ただちに避難してください。	



情報を集める テレビ・インターネット・電話案内などで調べる

気象状況

気象庁

<http://www.jma.go.jp>



TEL : 177

ホーム > 防災情報

<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

気象警報・注意報

台風情報

指定河川洪水予報

土砂災害警戒情報

竜巻注意情報

高温注意情報

レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)など

大雨注意報

大雨による災害が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。

大雨警報

大雨による重大な災害(浸水害)が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。

大雨特別警報

重大な災害(浸水害)が起こる可能性が非常に高い場合に発表されます。

強風注意報

強風により災害が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。

暴風警報

重大な災害が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。

暴風特別警報

暴風による重大な災害が起こる可能性が非常に高い場合に発表されます。

土砂災害警戒情報

お住まいの場所が土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等に当たるかどうか、あらかじめ確認してください。

雨量・河川水位

国土交通省 川の防災情報

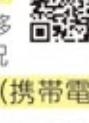
<http://www.river.go.jp>



雨量分布(レーダー)の推移

河川の水位と雨量の状況

<http://i.river.go.jp> (携帯電話)



河川の洪水予報

氾濫発生情報

氾濫が発生したときに発表されます。

氾濫危険情報

川の水位が氾濫危険水位を超えたときに発表されます。

氾濫警戒情報

川の水位が避難判断水位を超えたときに発表されます。

氾濫注意情報

川の水位が氾濫注意水位を超えたときに発表されます。

地震対策 地震発生! そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

**地震
発生**

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る 手近な座布団などで頭を保護
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



3分

揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意
- 大雨時、土砂災害の危険が予想される地域はすぐ避難(多重災害)



5分

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 隣近所に
声をかけよう | ●隣近所で助け合う 要配慮者の安全確保 |
| 出火防止
初期消火 | ●行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか |

- | | | |
|-------------|-------------------------|------------------------|
| ●初期消火 | ●消火器を使う | ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく |
| ●漏電・ガス漏れに注意 | ●電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める | ●余震に注意 |



10分
数時間
▼
3日

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●救出・救護を ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- テーマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 ●無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない



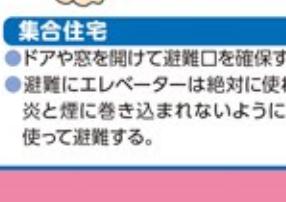
屋内にいた場合

家中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。



劇場・ホール

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- プロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

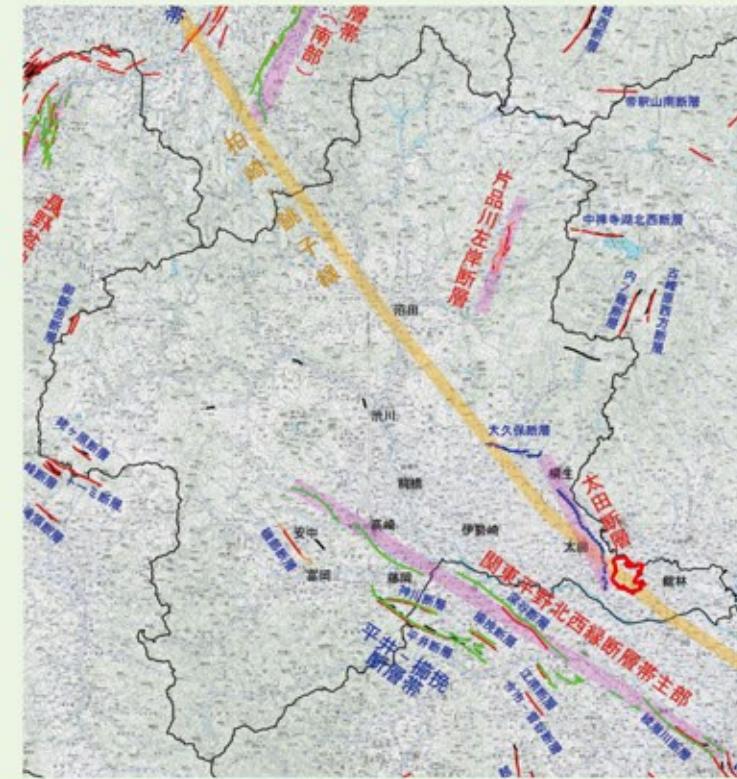


海岸付近

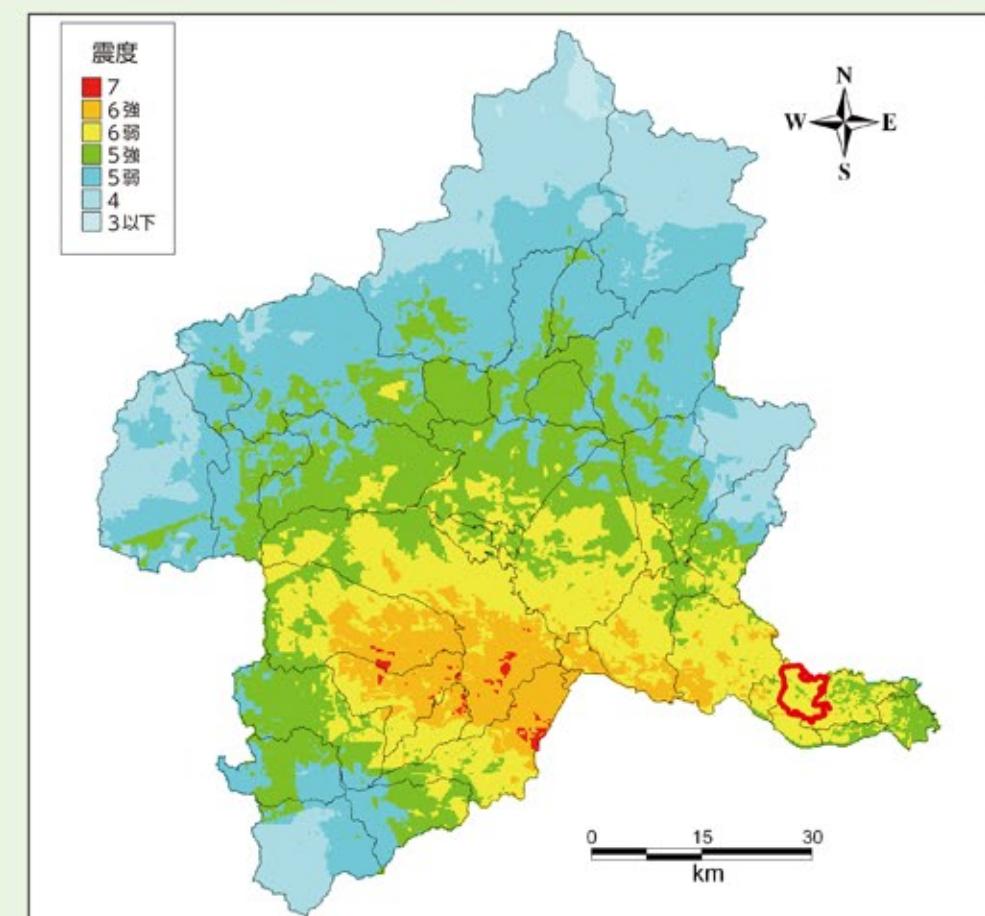
- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

揺れやすさマップ

想定断層(帯)と想定断層のモデルの位置図



関東平野北西縁断層帯主部による地震(M8.1)の場合の地表震度分布図



最大被害想定図



使用上の注意

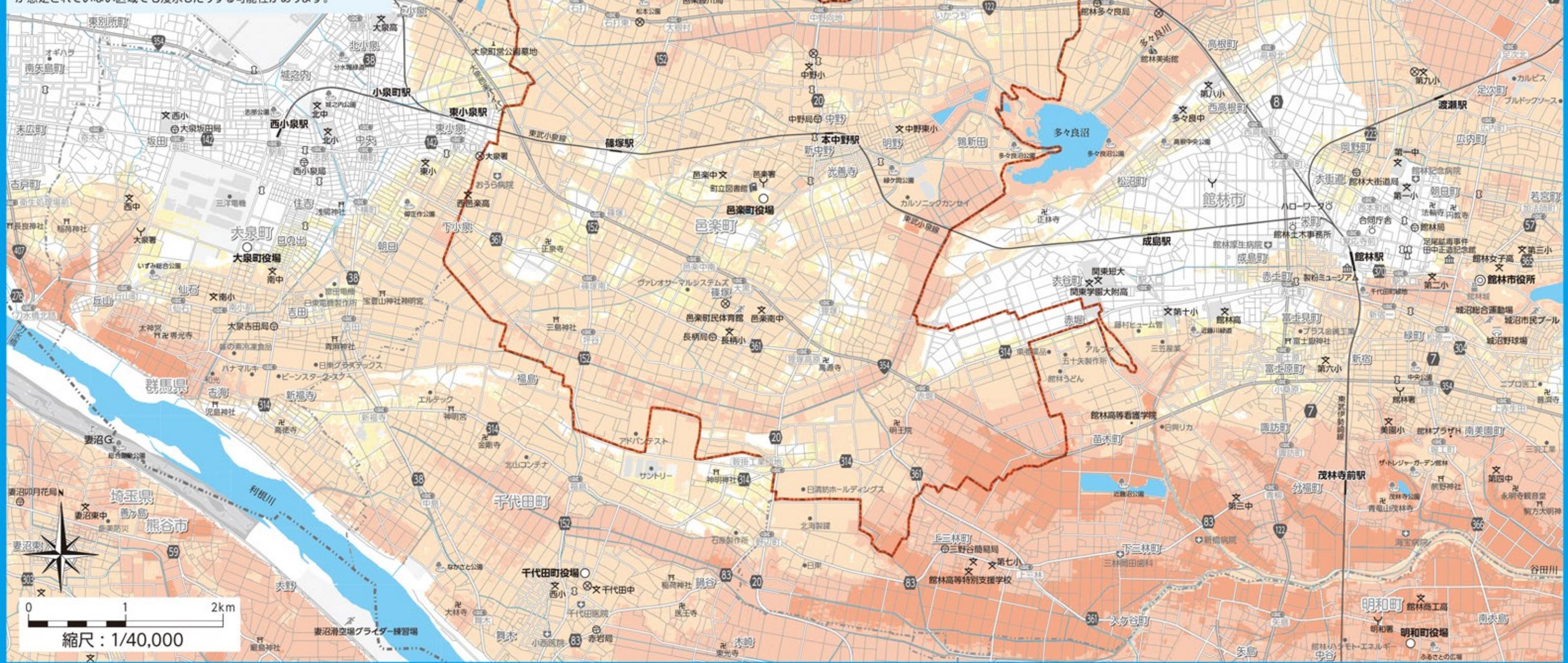
マップの表示より深くなる場合もあります

●このマップは、平成 29 年 7 月 20 日に国土交通省関東地方整備局が公表した利根川水系利根川及び利根川水系渡良瀬川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)に基づいて作成しています。

●このマップは、利根川及び渡良瀬川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、「想定し得る最大規模の降雨」に伴う洪水により利根川及び渡良瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したもので

●このマップは、利根川及び渡良瀬川流域に概ね 1000 年に一度の確率で発生する大雨(3 日間の総雨量が利根川 491mm、渡良瀬川 812mm)が降った場合に、邑楽町で浸水の恐れのある区域を浸水深ごとに色分けして示しています。

●このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫や内水による氾濫などを考慮していませんので、想定とは異なる浸水深になったり、浸水が想定されていない区域でも浸水したりする可能性があります。



縮尺: 1/40,000

全体図

